

## 第2章 子どもを取り巻く状況

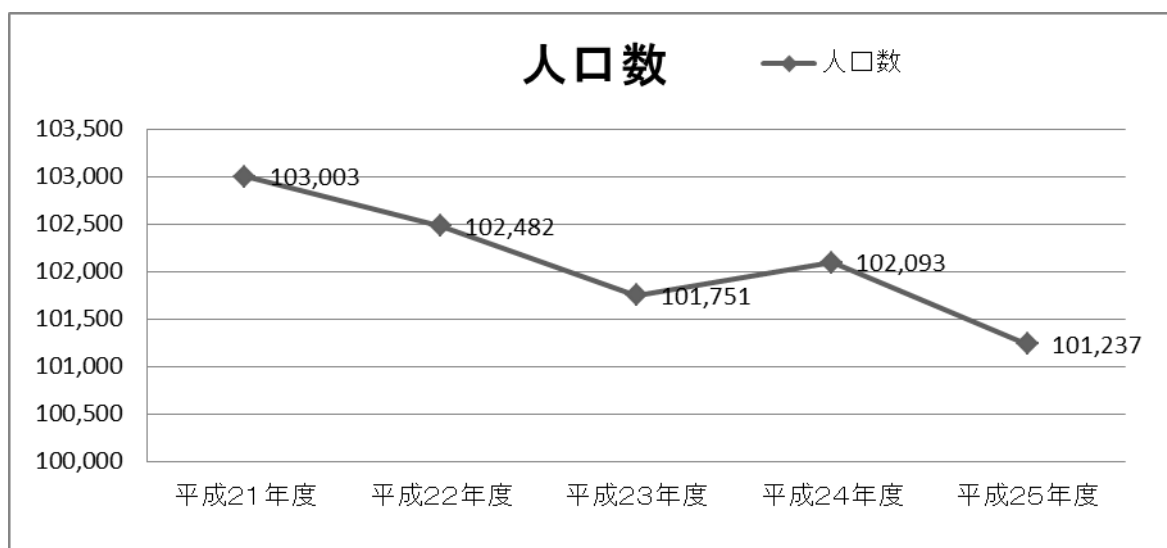
### <1> 鹿沼市の人口の動き

#### (1) 鹿沼市の人口の状況

本市の人口は、人口数の動向は、減少傾向にあります。0～14歳の子どもの数も減少傾向にあります。

図1 鹿沼市の人口数の推移

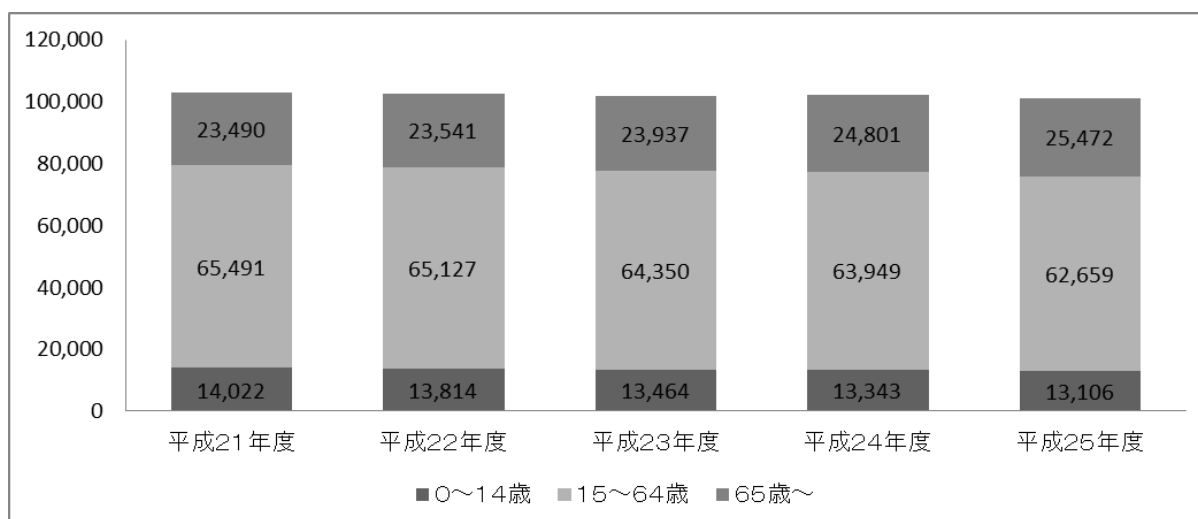
単位：人



(各年度3月31日 住民台帳 登録人口)

図2 年齢3区分別人口の推移

単位：人



(各年度3月31日 住民台帳 登録人口)

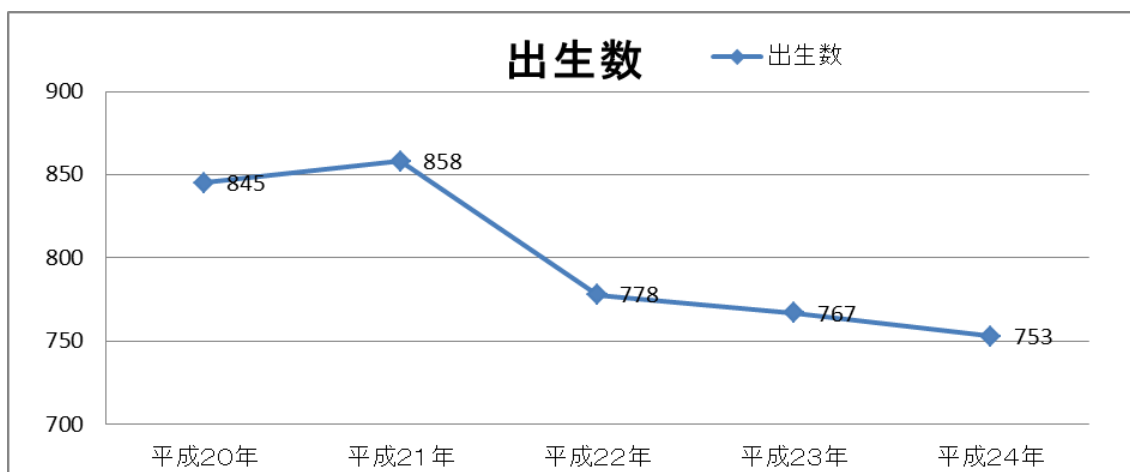
## (2) 鹿沼市の子どもの動向

### 1) 出生の推移

近年の出生数は、増減はあるものの、全体的に少子化の傾向にあります。

図3 鹿沼市の出生数

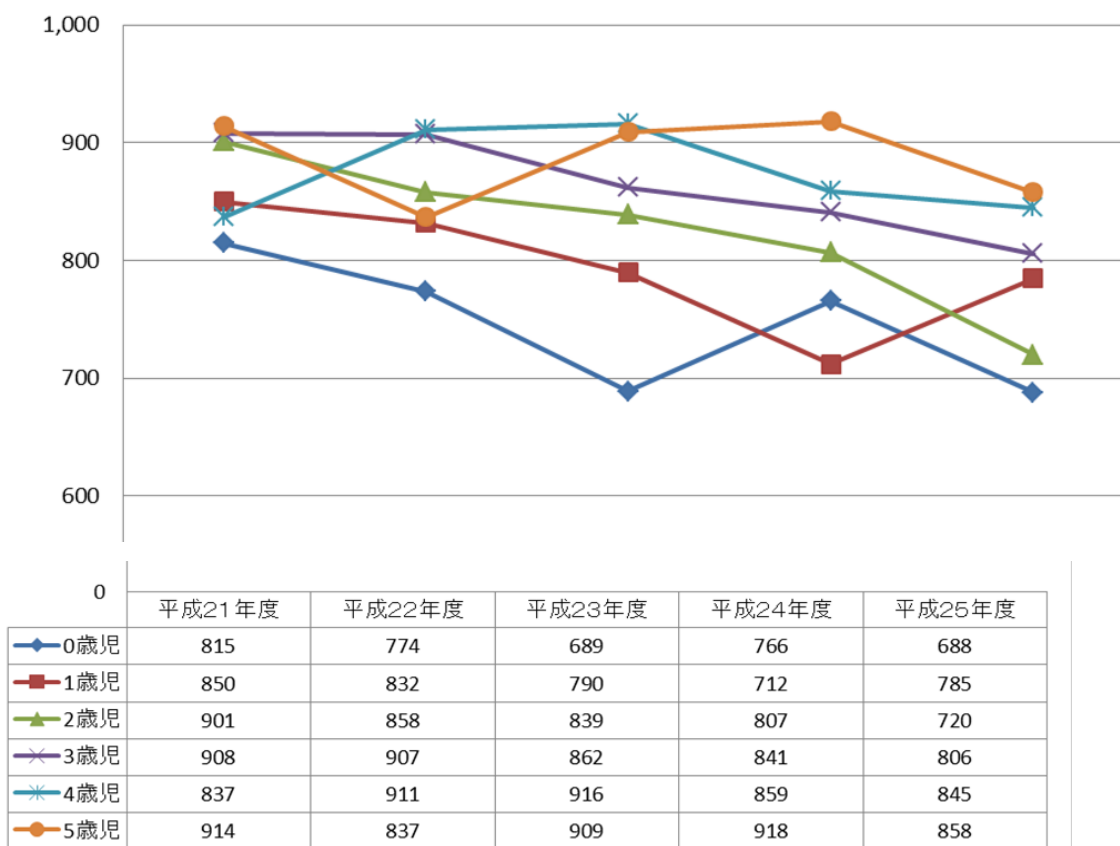
単位；人



### 2) 未就学児童数の推移(0～5歳)

図4 平成21年度～平成25年度の0～5歳児の状況

単位；人



### (3) 鹿沼市における人口の推移

将来の人口を推計すると、平成33年度には、人口は、9万7千人程度まで減少し、年少人口（0～14歳）は、約1万7百人に減少する見込みです。

表1 第6次鹿沼市総合計画による人口推移

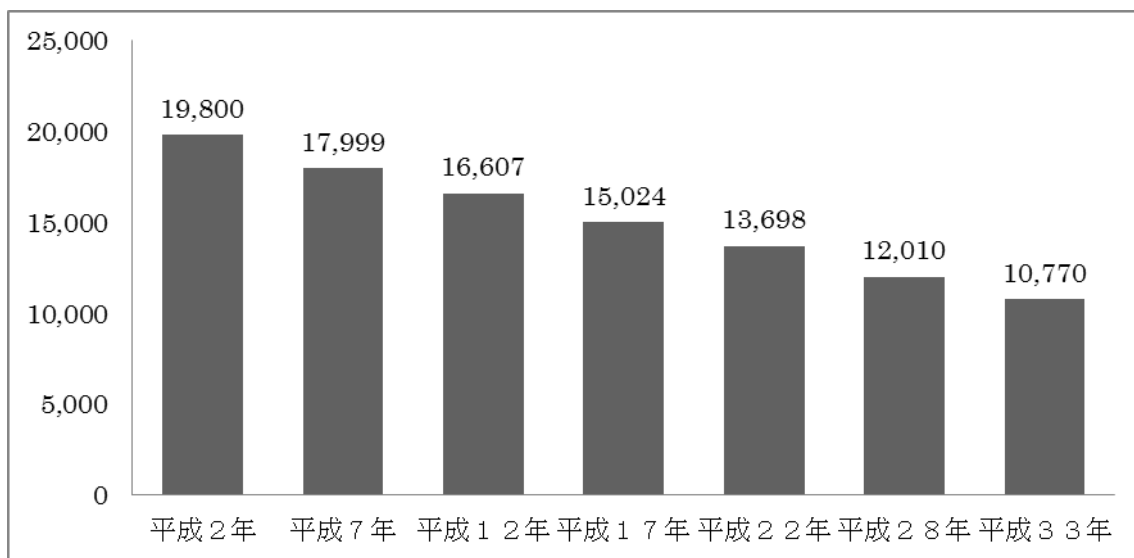
単位：人

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成28年	平成33年
総人口	101,097	104,019	104,764	104,148	102,348	<b>100,100</b>	<b>97,000</b>
0～14歳	19,800	17,999	16,607	15,024	13,698	<b>12,010</b>	<b>10,770</b>
15～64歳	67,122	68,783	68,338	67,206	63,593	<b>60,360</b>	<b>56,460</b>
65歳以上	14,168	17,237	19,745	21,890	23,466	<b>27,730</b>	<b>29,770</b>

※実績値には、年齢不詳を含んでいる。

図5 鹿沼市の年少人口の推移

単位：人



将来の人口の年齢構成では、平成33年度においては、年少人口の構成割合は全人口の約11%見込まれています。

表2 第6次鹿沼市総合計画による年齢構成の割合

単位：%

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成28年	平成33年
総人口	100.0	100.00	99.90	100.00	100.00	100.00	100.00
0～14歳	19.6	17.30	15.90	14.40	13.60	<b>12.00</b>	<b>11.10</b>
15～64歳	66.4	66.10	65.20	64.60	63.10	<b>60.30</b>	<b>58.20</b>
65歳以上	14.0	16.60	18.80	21.00	23.30	<b>27.70</b>	<b>30.70</b>

## <2> 教育・保育施設の状況

### 1) 幼稚園・保育所等の状況

#### 【保育所】

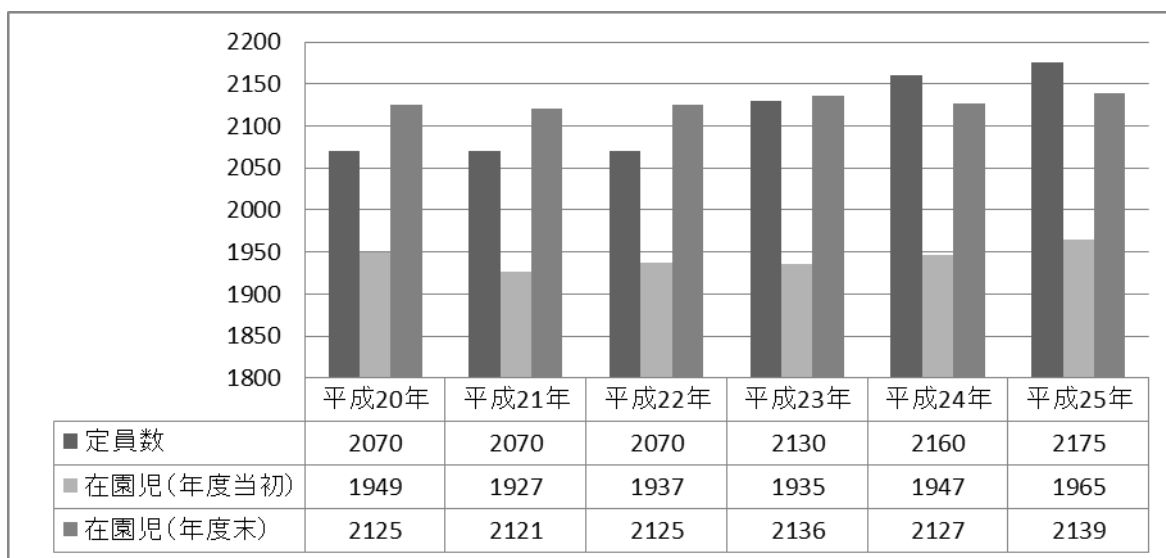
保育所（保育所型児童館含む）は平成25年度に1園減少し、平成25年で24施設（うち1施設は休館）、定員数は2,175人となっています。

平成26年4月では、公立保育園が12施設、民間保育園が9施設、児童館が3施設（うち1施設は休館）になります。

平成27年度に公立保育園では、拠点施設整備において1園減少になり、保育所型児童館を保育園として運営します。また、公立保育園を1園、民営化を実施します。

図6 保育所の園児数

単位；人

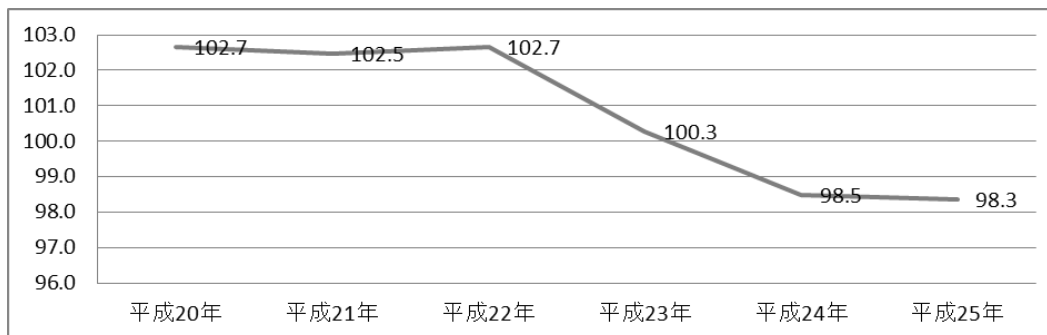


（保育所型児童館を含む）

在園児数については平成23年以降増加し、平成25年では1,965人となっています。

図7 保育所の定員に対する充足率の推移

単位：%



※各年度末における充足率

定員に対する保育所の充足率は、平成22年以降、下降傾向で、平成25年時点では約98%となっていますが、年度当初と年度末では、変化します。また、区域によっても状況は異なります。

次に、鹿沼市の西部とそれ以外の区域と分けた場合（図7）における保育所の入所状況になります。

図8 区域区分図

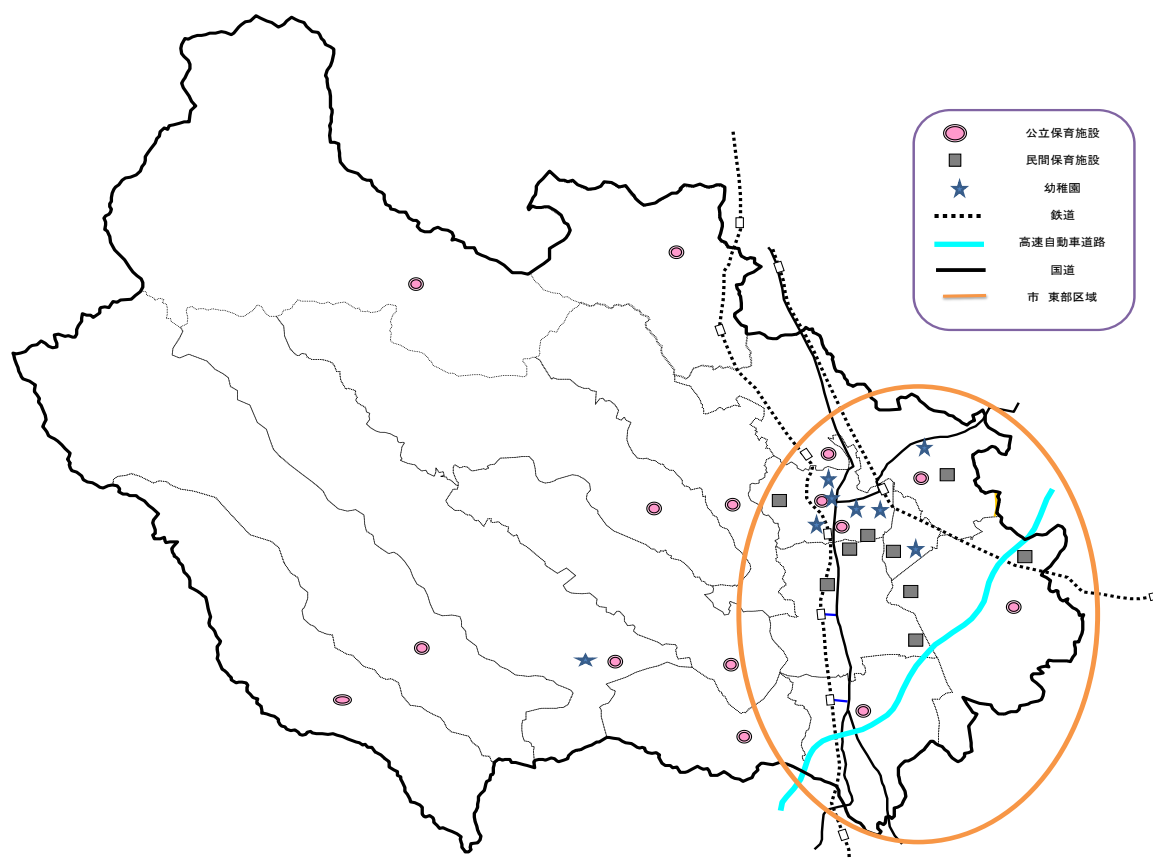


表3 図7による保育所の入所率の状況

単位：人 %

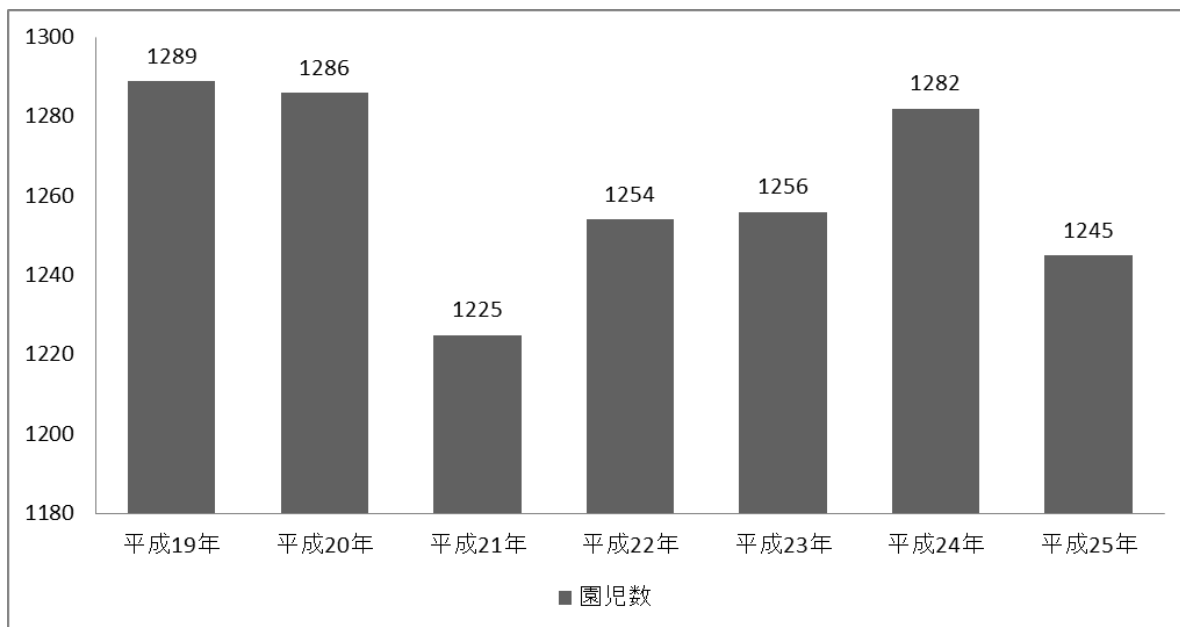
	右記以外					西部				
	定員数	4月1日 利用数	左記入 所率	3月1日 利用数	左記入 所率	定員数	4月1日 利用数	左記入 所率	3月1日 利用数	左記入 所率
平成21年度	1,560	1,613	103.4	1,776	113.8	510	326	63.9	354	69.4
平成22年度	1,560	1,638	105.0	1,789	114.7	510	309	60.6	343	67.3
平成23年度	1,620	1,630	100.6	1,806	111.5	510	302	59.2	332	65.1
平成24年度	1,650	1,672	101.3	1,830	110.9	510	343	67.3	305	59.8
平成25年度	1,665	1,690	101.5	1,845	110.8	510	304	59.6	304	59.6

西部地区：保育所（ひなた、なんま、栗野、清洲、粕尾、永野）児童館（板荷、加蘇、西大芦）

【幼稚園】

図9 幼稚園の園児数の推移

単位：人



資料：学校基本調査（各年5月1日時点）

幼稚園は、平成26年4月現在では、市内に8園あり、すべて、民営の幼稚園になります。

園児数は平成21年から平成24年にかけては増加傾向でしたが、平成25年は平成24年に対して37人減少し、1,245人となっています。

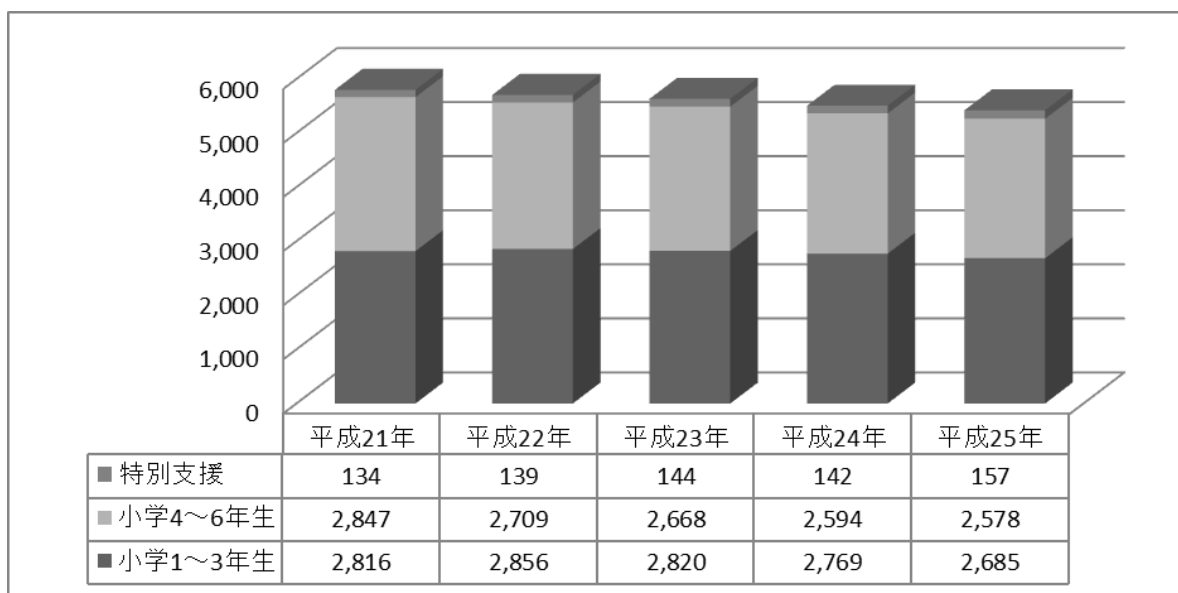
## 2) 小・中学校の状況

### 【小学校】

平成26年4月現在で、27の小学校があります。児童数は年々減少しており、平成21年から平成25年では377人の減少となっています。

図10 小学校の児童数の状況

単位：人



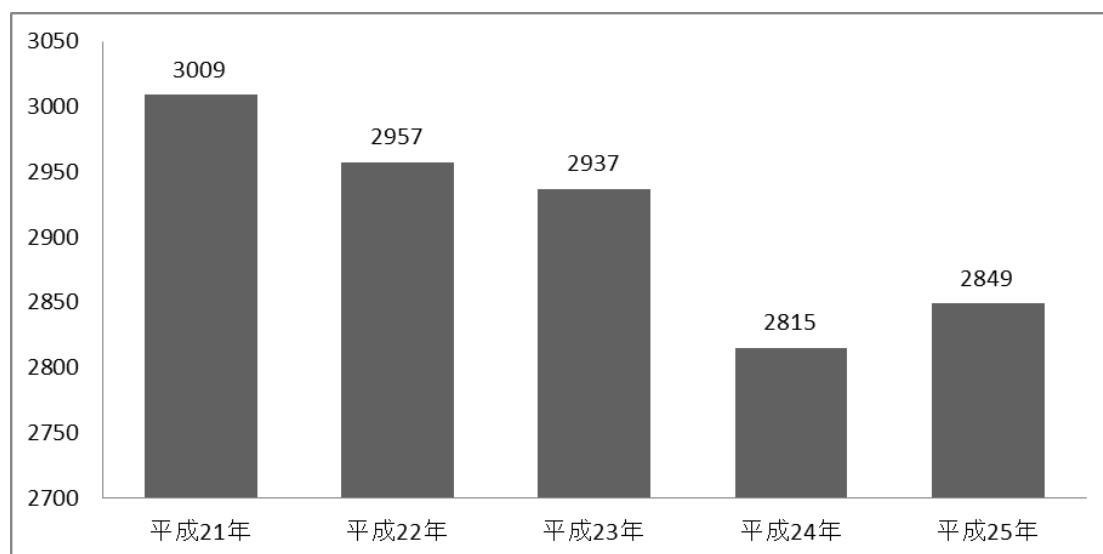
資料：学校教育課調べ 各年5月1日現在

### 【中学校】

平成26年4月現在では、10の中学校があります。中学校の生徒数は、平成24年まで減少傾向でしたが、平成25年は、増加しています。

図11 中学校の生徒数の推移

単位：人

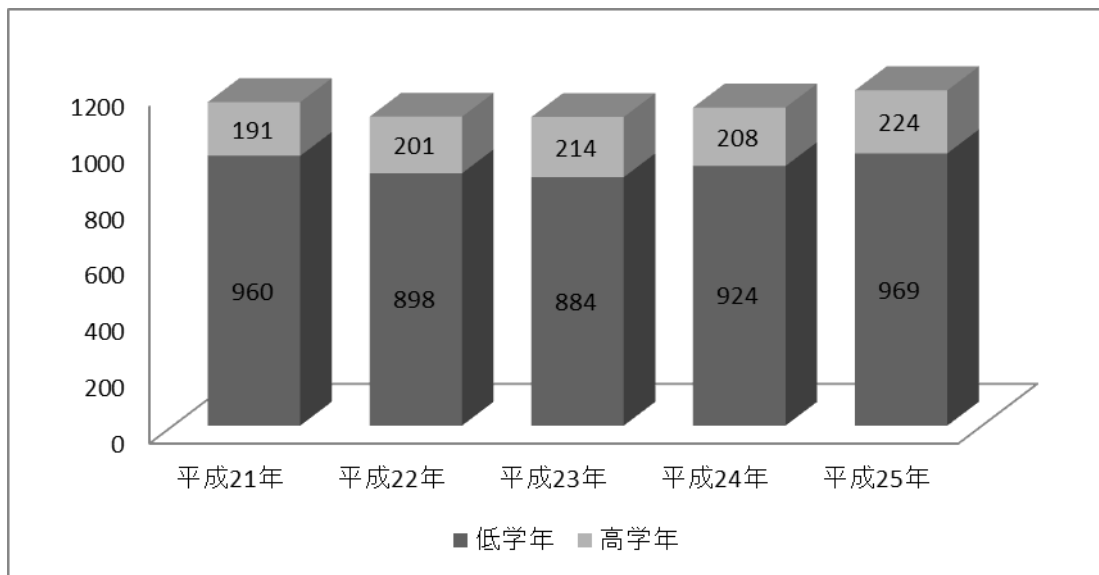


資料：学校教育課調べ 各年5月1日現在

【放課後児童健全育成事業（学童クラブ）】

学童保育の利用については、平成21年から23年にかけては横ばいでしたが、平成24年度から増加する傾向にあります。

図1-2 放課後児童健全育成事業（学童クラブ）登録児童数の状況 単位：人



※ 登録児童数は月平均の児童数 資料：こども支援課調べ